



議会だより



おもな内容

6月定例会	2
一般質問（6人）	8
委員会活動報告	14
臨時会	18
どっこい、この町に生きる	20

祝
優勝!
石見消防団



令和
4年度
補正予算

物価高騰対策に3230万円

新型コロナウイルス感染症対策

認定こども園管理運営事務



291万円

安心安全な保育を行うため、洗濯機及び空気清浄機の導入を行う

地域内経済循環対策事業

100万円

「たったもカード」電子マネーチャージ時のプレミアムポイントを一定期間 1% から 5% にする

総合文化センター管理事務費

290万円

感染リスク低減のため、トイレ内の手洗いを自動水栓化、研修室等に空気清浄機の導入

予防衛生一般事業

1195万円

新型コロナウイルスワクチン 4 回目の接種費用、医師報償費など体制整備に必要な経費

生活支援特別給付金事業

210万円

低所得の子育て世帯に大きな困難が生じていることを踏まえ、対象児童一人につき 5 万円支給

青少年健全育成事業



61万円

「日南町二十歳を祝う会」式典を安全に行うため、対象者に対し PCR 検査を実施する

ロシアのウクライナ侵攻で原油、穀物等の物流が不安定化したことによる価格の変動、さらに急激な円安が進み輸入品をはじめ多くの商品が値上がりし、町民生活に多大な影響を及ぼしています。併せて新型コロナウイルス感染症も感染者の増減を繰り返しながら長期化しています。

この度の補正予算は町民の困窮の現状を踏まえ、町民生活支援を中心に総額 6256万円を議決しました。

ここに注目

物価高騰対策

**原油価格等高騰対策
町内経済活性化事業**

2125万円

たったもカードのスペシャルポイントを全町民一律 5,000 ポイント付与

生活困窮世帯支援事業

36万円

生活困窮者の生活を支援するため一世帯につき 7000 円を現金給付

畜産振興対策事業

405万円

町内の酪農及び和牛繁殖農家に対し飼料価格等の高騰対策支援

燃油及び光熱費等支援補助金

664万円



町内福祉事業所等に対し車両燃料及び光熱費の一部を支援する

議決した主な議案

日南町議会の6月定例会は、6月9日から16日までの8日間の会期で開きました。一般質問では、6人の議員が登壇し2日間にわたり町政運営に対し、課題や方向性など活発な議論を展開しました。

執行部から提案された、財産の取得、工事請負契約の締結、日南町長及び副町長の給与の減額に関する条例の制定、日南町議会議員及び日南町長の選挙運動の公営費に関する条例の制定、令和4年度各会計補正予算など全9議案は原案のとおり可決しました。

財産の取得

◆町営バス中型車両購入(58人乗り)
契約の相手方

日野郡日野町貝原153番地
根雨自動車整備㈱
代表取締役 田辺正男
取得価格
21,960,730円

工事請負契約の締結

◆日南町 TOWNS・NET 同軸設備
備ほか撤去工事
契約の相手方

米子市東福原3丁目8番14号
㈱中電工 米子営業所
所長 細田 武明
契約金額
130,900,000円

条例の制定

◆日南町長及び副町長の給与の減額に関する条例の制定
(要約)

町長及び副町長の給料月額を令和4年7月1日から同年7月31日までの間、それぞれ当該月

額の10分の10、10分の5に相当する額を減じる。

◆日南町議会議員及び日南町長の選挙における選挙運動の公営費に関する条例の制定
(要約)

この条例は、公職選挙法第141条第8項及び第143条15項の規定に基づき、日南町議会議員及び日南町長の選挙における、選挙運動用自動車の使用及び掲示場用ポスターの作成について、その費用を町が支出するもの。

タクシー等利用の場合

使用された各日に対し一台限定上限 23,000円

レンタカー借入れの場合

使用された各日に対し一台限定上限 10,000円

選挙カーの燃料費

選挙期間の日数に3,000円を乗じた金額に達するまでの部分

選挙カーの運転手費

従事した各日に対し指定された一人に 上限10,000円

掲示場用ポスターの作成費

一枚当たりの作成単価の上限を1,000円とし、掲示場数に11を乗じた範囲内。

6月定例会審議結果

○可決した議案

令和4年度 補正予算	一般会計補正予算（第1号）
	国民健康保険特別会計補正予算（第1号）
	一般会計補正予算（第2号）
条例の制定	日南町長及び副町長の給与の減額に関する条例
	日南町議会議員及び日南町長の選挙における選挙運動の公営費に関する条例
条例の一部改正	過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例
	日南町地方活力向上のための固定資産税の課税免除及び不均一課税に関する条例
その他	財産の取得について(令和4年度 日南町営バス中型車両購入(58人乗り))
	工事請負契約の締結について（令和4年度 日南町TOWNS-NET同軸設備ほか撤去工事）
決議	地方財政の充実・強化を求める意見書提出について
	教職員定数の改善に係る意見書提出について

……賛否の分かれたもの

報告 町営バスの車検切れ運行の処分について

6月22日、黒坂警察署から違反となった道路運行車輛法及び自動車損害賠償保障法について、故意でないと判断され、町に対し「指導、警告」とする内容が口頭で示された。

また、7月5日国土交通省鳥取運輸支局より、町及びNP0法人に対し、道路運送法に基づく安全確保命令が出され、3か月以内に改善報告を求められた。

討 論

【反対】大西 保議員
警察や運輸局の処分、職員の懲戒処分が決定してから町長の責任を明確にすべきであり、6月定例会にこだわることはない。減給処分の程度が軽い。

【賛成】岩崎昭男議員
町長の任期はあと半年であり、その間に関係機関から処分が出ない可能性もある。任期中に自らの責任を明確にするものである。

【反対】坪倉勝幸議員
条例の制定は、町が町長に処分を科すことである。関係機関の処分や職員の懲戒処分が決定してから判断すべき。処分の程度があまりにも軽い。

【賛成】古都勝人議員
町の責任者として率先して責任を取る姿勢を示すものである。それにより町民の信頼が集まり、町のためになる。

採 決

○賛否内訳

大西 保	岩崎 昭男	櫃田 洋一	久代 安敏	近藤 仁志	荒木 博	古都 勝人	岡本 健三	坪倉 勝幸	山本 芳昭
×	○	○	○	×	○	○	○	×	—

※山本芳昭議長は議事進行を行うため、賛否の表明はしません。

もっとくわしく質疑応答 補正予算など

令和4年度補正予算等の質疑を行いました。

町営バス運行委託

問 なぜ当初予算から増額したのか。

答 業務時間、待機時間、臨時便の積算に誤りがあった。

問 委託期間を延長したのか。

答 現在と同じ3年間。

バス購入

問 新たに購入する車体のデザインは。

答 現在の路線バスと同じ。

同軸ケーブル撤去

問 これまでも予算にあったのでは。

答 部分的にはあった。全町で光化が完了したので全面的に撤去する。

問 撤去したケーブルを資源化できないか。

答 資源化で処分費を圧縮できれば予算を変更する。

問 応札は何社か。

答 1社である。

特別職の減給

問 町長10%、副町長5%の減給とした判断基準は。

答 他の地方公共団体の事例を参考にした。

問 自賠責保険切れは最高で80万円の罰金が運転手へ課される。減給額が少ないのでは。

答 他の団体と比較すると低い額ではない。

問 運転手への刑事処分があれば再度処分を検討するのか。

答 結果が出た段階で検討する。

問 2度の処分は考えられない。最終的な結論が出たところで整理しては。

答 結果報告の時期やそもそも報告がでるのかもわからない。一旦整理をして責任を示すべき。

問 職員の処分の状況は。

答 1度審査会を開き継続審査とした。

選挙公営

問 候補者名が入った法定

ビラを告示後に配布できるか。

答 できるが公費負担は見送った。今後検討する。

問 法定ビラに貼付するシールは選管が準備するのか。

答 事前説明会などで要望を聴く。

問 ポスター掲示箇所数は、現在75箇所だが、未確定なので予算には80箇所を計上した。

たったもカード

問 ポイントアップのキャンペーンを毎週にしては。

答 毎週だとインパクトに欠ける。広告で第2・第4水曜日を周知する。

問 10日・20日・30日のほうが分かりやすいのでは。

答 商工会が偶数月22日にポイント3倍にする。

問 予算上限に達したら、動向を見ながら判断する。

問 町民の4人に1人がカードを全く利用してないが。

答 ポイント有効期限など

さらに周知する。

福祉事業所等への光熱費等支援

問 対象となる事業所数は。

答 2事業所である。

問 価格上昇分をどう見積もるのか。

答 昨年4月と今年4月の単価を元に見積もる。

問 支援する期間は、1年間である。

畜産振興対策



がんばる畜産農家

答 乳牛は今年4月1日、和牛は5月19日が基準である。乳牛74頭、和牛117頭が対象となる。

空気清浄機

問 認定こども園と文化センターの空気清浄機は同じものか。入れ方法は。

答 機種は同じで大きさが異なる。どちらも一緒に入札する。

問 品簿を認識しているか。

答 承知している。速やかに執行する。

問 町内業者も応札できるか。

答 取扱いがあればできる。

モンゴル交流

問 なぜ突然決まったのか。

答 新型コロナウイルスの入国制限が緩和され急ぎよ決まった。

問 山里Loadにちなん

答 何を委託するのか。

問 移動、宿泊の手配など。

答 国内からの来訪者と同じ扱い。心配な方は無料検査の利用を。

6月定例会で採択した意見書を、 内閣総理大臣ほか関係大臣に提出しました(要旨)

地方財政の充実・強化を求める意見書

いま、地方公共団体には、急激な少子・高齢化の進展にともなう子育て、医療・介護など社会保障制度の整備、また人口減少下における地域活性化対策、脱炭素化をめざした環境対策、行政のデジタル化推進など、多岐にわたる役割が求められつつある。

しかし、人材は不足しており、新型コロナウイルス、また近年多発している大規模災害への対応も迫られている。これらに対応するため政府は「骨太方針2021」において、2021年度の地方一般財源水準を2024年度まで確保するとしているが、増大する行政需要に十分対応し得るのか、大きな不安が残されている。

2023年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立をめざすよう、以下の事項の実現を求める。

- 十分な地方財源総額の確保をはかること。
- 社会保障経費の拡充をはかること。
- 地域間の財源偏在性の是正にむけては、より抜本的な改善を行うこと。
- 新型コロナウイルス感染症対策として、地域経済の活性化まで踏まえ、十分な財源措置をはかること。
- 地方創生事業費として確保されている1兆円は恒久的な財源とすること。
- 会計年度任用職員制度の運用においては、さらなる財政需要を十分に満たすこと。
- 特別交付税の減額措置を行わないこと。
- 地域デジタル社会推進費に相当する十分な財源を保障すること。
- 森林環境譲与税の譲与基準を見直すこと。
- 地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化をはかり、対策を講じること。

教職員定数の改善に係る意見書

学校現場では、貧困・いじめ・不登校など解決すべき課題が山積しており、子どもたちのゆたかな学びを保障するための教材研究や授業準備の時間を十分に確保することが困難な状況となっている。また、新型コロナウイルス感染症対策にともない新たな業務も発生している。ゆたかな学びや学校の働き方改革を実現するためには、少数職種の配置増など教職員定数改善が不可欠である。

よって、国会及び政府においては、地方教育行政の実情を十分に認識され、地方自治体が計画的に教育行政を進めることができるように、

下記の措置を講じられるよう強く要請する。

記

- 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、少数職種の配置増など教職員定数改善を推進すること。
- 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わないこと。

陳情の審査結果と討論

提出のあった陳情は、6月定例議会の本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。
なお、賛成・反対とあるのは、陳情の原案に対する討論と採決の結果です。

令和4年陳情第2号	提出者	審査意見	本会議
地方財政の充実・強化を求める陳情	自治労鳥取県本部 執行委員長 山口一樹 ほか1名	新型コロナウイルス感染症対策や社会保障の維持及び子育て・地域医療の確保等、政府に地方財政の充実・強化を求めることは妥当である。	採択 (全員一致)

令和4年陳情第3号	提出者	審査意見	本会議
消費税インボイス制度の実施中止を求める陳情	米子民主商工会 会長 足川晴雄	消費税は消費者が負担した税金であり、インボイス制度が導入されても免税事業者やフリーランス等の方々に増税を強いるものではない。	不採択
【反対】 近藤仁志議員 消費税の最終的な負担者は消費者であり、消費税は国に納付されることで国民に還元される。インボイス導入で増税とはならない。 (大西、岩崎、櫃田、近藤、荒木、古都、坪倉)		【賛成】 久代安敏議員 インボイス導入で中小事業者などの消費税が一気に上がる。輸出大企業への莫大な還付金を放置する一方で中小事業者をいじめる不公平な制度である。 (久代、岡本)	

令和4年陳情第4号	提出者	審査意見	本会議
ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の陳情について	鳥取県高等学校教職員組合西部支部 支部長 田中 繁 ほか1名	新型コロナウイルス感染症対応をはじめ、子どもたちのゆたかな学びの保障や学校の働き方改革を実現するため、教職員定数改善と財政確保は必要である。	採択 (全員一致)

令和4年陳情第5号	提出者	審査意見	本会議
西部広域行政管理組合一般廃棄物処理施設整備基本構想の見直しを求める陳情	西部広域大型ごみ処理施設を考える会 共同代表 百毛晴雄 ほか3名	基本構想は、長年にわたり西部9市町村で議論を積み重ね決定されている。計画の途中で、国の法律が変更された場合はその都度検討されるものであり、基本構想は見直すべきではない。	不採択
【反対】 岩崎昭男議員 西部広域は事務の効率化を図るための組織である。新法への対応についても西部広域がプラスチック廃棄に対する民間からの提案を受け付けている。 (大西、岩崎、櫃田、近藤、荒木、古都、坪倉)		【賛成】 岡本健三議員 西部広域の基本構想にもとづく提案では根本的な解決はできない。国の方針が変わった以上、ごみ処理に責任を負う各市町村がそのあり方を検討し直すべき。 (久代、岡本)	

令和4年陳情第6号	提出者	審査意見	本会議
日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める意見書の提出を求める陳情	鳥取県原爆被害者の会 会長 梶川道子 ほか2名	唯一の被爆国として核兵器禁止条約の趣旨は理解できるが、核拡散防止条約、包括的核実験禁止条約のような、核保有国を含めたものでなければならぬと考える。	趣旨採択
【反対】 櫃田洋一議員 日本の安全保障を考えるとときにアメリカ合衆国との連携が重要であり、慎重に検討していく必要があるため趣旨採択が妥当である。 (大西、岩崎、櫃田、荒木、古都)		【賛成】 近藤仁志議員 核兵器は無差別に人の命を奪うばかりでなく、国土を破壊し後世の負担も大きい。核兵器禁止条約の批准は被爆国として当然である。 (久代、近藤、岡本、坪倉)	

町政のここが聞きたい

問 たったもカードの普及は

答 行政ポイントを積極的に活用する



櫃田洋一 議員

問 2期目に挑戦されるのか
取り組む課題は

答 前向きに考えたい
地方創生の推進である



大西 保 議員

問 “たったも”

3か月経過した時点であり、それぞれの売り上げの違いもある。いろいろな声を聞きながら検討したい。

答 町長

利用店舗の拡大がたったもカードの普及に影響すると考える。端末機利用料が1台につき月額1,210円かかり、移動販売を行う店舗ではさらに月額5,500円必要となるため、導入した店舗もあると思う。事業を開始した町が負担するいは補助するべきでは。

問 端末機利用料

町内の商店、飲食店等でのさらなる定着を目指し、行政ポイントの積極的な活用、商工会独自で行っているチャージポイントキャンペーンを実施する。7月には町外者に向けたたったもカードも併せて活用し、町内の経済循環をさらに図っていく。

答 中村町長

キャッシュレス事業「たったもカード」の普及をどのように進めていくのか。

問 普及・啓発

無車検無保険（道路運送車両法）違反点数12点、90日免許停止、1年6ヶ月以下の懲役又は80万円以下の罰金、無自賠責保険（自動車損害保険法）違反点数6点、1年以下の懲役又は50

答 実延総務課長

行政処分、刑事処分の罰則内容を把握しているか。

問 罰則内容は

答 町長

責任をどのように考え、どのように取られるのか。

問 町営バス車検切れ
運行の処分

町民の支援がいただけるなら前向きに考えたい。地方創生の推進が主軸になる。

答 中村町長

町長の任期もあと6ヶ月余りとなった。2期目に挑戦するのであれば取り組み課題は。

問 町長の進退

鳥取県の地方公共都市町村版に、日南町のたったもカードの仕組みや地域内経済循環、行政ポイ

答 企画課長

「デジタル田園都市国家構想」の実現に向け、国が自治体の優れた施策やアイデアを表彰する「Digital田（でじでん）甲子園」が今夏開催され、町独自のキャッシュレス決済カードの発行で応募されたと聞か。

問 Digital田甲子園

住民課、出納室ともう少し確認作業が必要であり、方針が決まれば案内できる。

答 島山企画課長

「先ず随分（ずいぶん）始めよ」という諺があるが、たったもカードを住民課の窓口で証明書の発行手数料等に利用できるようにするべきでは。

問 先従院始

出来るかどうか、好評になるかどうか検討する。

答 町長

大手スーパーのWAONというカードは決済音が「ワオン」と鳴るが、たったもカードも町長の声で「たったも〜♪」と鳴れば良いと思うが。

5月27日に社長、佐伯取締役とウェブ会談を行った。水質汚濁の再発防止や県の指摘事項を改善してもらうべく協議した。

問 4〜5月の状況を把握しているか

泡、濁りの発生が常態化していた。沈殿槽の底に穴が開き汚水が漏れていた。5月末に修理を行った事を把握していたか。

答 町長

上原社長と会談されたのか。どのような内容だったのか。

問 セントラル農場の環境問題



デマンドバス（多里線）

捜査中であり把握していない。

答 町長

対象者は、運転手では。

問 処分の対象者は

万円以下の罰金と認識している。



ギフト券もあるよ

良い感触を持っており、さらに利用し易くしたい。

答 町長

貰った方も送った人もうれしく良い取り組みであり、もっとPRして周知する必要があると思うが。

問 ポイントギフト券

期限が過ぎたポイントは失効し、商工会がそれを財源にイベントや事業の経費に充てる。

答 企画課長

2月に付与されたポイントは8月末が期限だが、利用されなかったポイントはどのようなのか。

問 ポイント残高

ントを活用した住民参画を中心に応募した。

認証制度の変更があるので、その後申請を検討して行きたい。

答 町長

3月議会において、新たに申請取得するように予算審査意見を出している。購入せず共同で販売すればいいのではないか。

問 森林組合から購入すべきでない

令和4年度中に2,000t程度森林組合から購入を検討している。

答 町長

保有量があと数ヶ月でなくなる。どのような対応をするのか。

問 ジークレジット量確保の今後

答 町長

必要な測定器も購入しない、設備の改善もしない、必要な人も配置しない、上原ファームグループの経営状況を把握しているか。過去3年間の売上が114億円で純利益が7億円もある。

問 経営状況を把握しているか

答 町長

把握していない。

町政のここが聞きたい

問 事務長の配置がないところがある

答 地域の協力を得ながら努力している



坪倉勝幸 議員

問 集会施設運営費の支援を

答 実態を調査し、支援を検討する



岩崎昭男 議員

問 地域への影響

公募や地域の方と検討しながら努力してきたが年度当初には3カ所の事務長が配置できなかった。再任用職員が出向いて事務をしている。職種別に募集採用したので、事務長への配置が難しかった。

答 町長

事務長が配置できていないところがあるが何故か。一般事務で採用の会計年度任用職員の配置も可能ではないか。

問 事務長の配置

町づくり協議会の事務局業務、施設の管理運営などを担っている。また、地域の方からの相談や地域行事の支援など地域振興に関わる業務を行っている。

答 町長

事務長の職務は。

問 地域振興センター事務長

センター長の位置づけ、役割は。

答 中村町長

町づくり協議会長をセンター長として委嘱しており、主にセンター施設の管理など担っている。

問 キャッシュレス事業

「たったもカード」の利用状況は。



厳しさが増す集会所管理

答 町長

8月以降、各自治会を回り、各自治会や班等から実情を聞き取り、地域活動を集会所で引き続き行ってもらえるような支援を検討する。

問 集会施設運営費の支援

集会施設運営に係る支援についての検討状況は。

答 中村町長

交付金の期限を問う声をいただいた。その間に各自治会・班等から声を聞き、その時々で必要な制度となるよう検討を行っている。

問 地域活動支援交付金

交付金が支払われたが、自治会・班からの反応は。

問 自立改革推進本部の体制

副町長を本部長とし、専門監を事務局長として配置し、行政課が担当する体制としている。



事務長が配置されていない地域振興センター

答 町長

地域毎に事務長の勤務態勢を把握し、集落支援員と一緒にな

問 事務長の働き方改革

事務長の1人体制を見直し、集落支援員制度の充実を図るとあるが取り組みは。

答 町長

事務長が配置していないことによる地域活動への影響は。

問 行政ポイントの活用

まち協や自治会事業についても行政ポイントを活用できるように関係機関と協議し、地域活動の活性化、地域コミュニティの充実が図れるような仕組みと

答 町長

まち協事業の推進等にも積極的に行政ポイントを活用すべきと考えるがどうか。

問 町外者向けのカード

町外者向けの「たったもカード」の導入準備状況は。

答 町長

7月7日からの利用開始に向け準備を行っている。6月27日よりチラシ、ホームページ等で広報し、商工会、加盟店舗、役場での受付を開始する。

①電子マネー利用額 43,196,187円(利用率86.6%)	②各種ポイント964,157P利用 (利用率80.2%)
③2月に付与したスペシャルポイント6,226,124P利用 (利用率79.3%)	④3月に付与したスペシャルポイント28,512,223P利用 (利用率67.6%)

答 町長

5月末実績は次の通り。

問 各課との連携

行財政改革を進めるうえで、推進本部長は各課の協議、取組に関わっているのか。

答 丸山副町長

昨年度は、関わりを持って指導、協議することができなかった。

問 計画の進捗

行財政改革計画の進捗状況は。

答 町長

3年度の取組について自立改革推進本部で点検を終えており、今後行政改革推進委員の評価を受ける。

問 計画の推進

実施計画をどう進めるのか。

答 町長

3年度実績について、行政改革推進委員から意見をいただき4年度の推進に反映させる。

問 コロナ禍の介護サービス

コロナ禍により、日南病院及び日南福祉会で制限されている介護サービス及びその利用者への影響は。

答 町長

特にショートステイの利用希望者及び介護者に影響が生じている。デイサービス及びヘルパーサービスは感染状況をみて規制緩和もされている。

問 解消対策

不感地域解消に向けて具体的な動きは。

答 町長

今年度、各自治会にも協力をいただき、再度日南町内の不感地域を調査し、各通信事業者、県、国へ要望を行う。

問 携帯電話不感地域解消

現在把握している不感地域は。

答 町長

福寿実(虫尾)、福万来(和田原)、印賀(印賀、古市、横見)、宝谷(宝谷)、菅沢(呼子)、新屋(新山)、上萩山(滑)、湯河(奥湯谷)の8集落。

問 学校給食の無償化を

答 総合教育会議などで
しっかり議論する



岡本健三 議員

問 緊急に物価高騰対策を！

答 6月の補正予算で対応する



久代安敏 議員

答 教育長
含まれていると考えている。

問 保護者へのアンケート



子どもたちの成長を願って

答 青戸教育長
理念としては無償が良い。ただ、恒常的に無償化するには財源の確保が大切である。教育委員会のメンバーに町長を加えた総合教育会議などでしっかり議論したい。

問 学校給食の無償化
教育長は学校給食の無償化を目指すべきとの考えか。

答 町長
6月補正において町民生活の

問 物価高騰対策
ロシアのウクライナ侵略や急激な円安で消費者物価が高騰しているため、緊急に「地方創生臨時交付金」を活用して日南町の消費者支援制度を提案する。

答 町長
令和4年度中に損失は生じないため、また制度の方向性が不明なため試算は行っていない。

問 農家の損失額は
今回の交付金見直しにより、日南町の農業者の損失額を示されたい。

答 中村町長
国、県から具体的な対応は示されていないが、地域の状況把握をするため、国から意見聴取が行われており、町からも課題を報告している。

問 水田活用直接支払交付金
水田活用直接支払交付金の見直しについては、3月定例会で政府に対して意見書を提出したが、国や鳥取県から具体的な対応が示されたか。

問 二酸化炭素排出削減
環境対策を推進する考えであり、グリーンドリム計画に含めて策定する。

答 町長
昨年温暖化対策推進法が改正され、すべての市町村に地方公共団体実行計画の区域施策編を作る努力義務ができた。区域施策編に対する考えは。

問 環境施策

答 町長
県は事故の度に、セントラルファームに指導をしている。今後も県と協同しながら改善を求めていく。また、会社側との定期的な会議日程を作る。

問 セントラルファーム
県が農場へ水質汚濁防止法の改善命令を発するよう町が要請してどうか。また、今後の対応は。

答 中村町長
少子化は全国で進んでいるので国が無償化を進めるべき。

問 少子化対策でもある
少子化対策としても意義があるのでは。

問 日南・芝生化プロジェクトチーム

答 中曽病院管理者
再編統合を取り下げた点は一定の評価をするが、地域包括ケアの位置づけが弱い、あるいは地域医療を担う常勤医師の確保に触れていないなどの懸念を感じる。

問 日南病院
総務省が3月29日に地方自治体に通知した「公立病院経営強化ガイドライン」は、公立病院の統合を軌道修正したものと分析するが、どう評価しているか。

食品大手105社、1万品目超を「値上げ」			
	値上げ率	品目数	主な商品
食品・飲料全体	13%	10,789	
加工食品	14%	4,288	冷凍食品、ラーメン、ハム
調味料	11%	2,153	マヨネーズ、食用油
菓子	12%	722	アイスクリーム、菓子
酒・飲料	15%	2,263	焼酎、ワイン、ビール
パン	9%	454	パン

①帝国データバンク調査(22年6月)。
負担を軽減し、町内での経済循環を促進するため、たつたもカードスペシャルポイントを町民全員へ5,000ポイントを付与する予算案を上程する。

答 町長
ごみ処理の計画を作る責任は町にある。あわせて、ごみ処理を共同するため西部広域がある。新たな法律の趣旨を踏まえて議論する。

問 町の責任では
ごみ処理をどのようにするか決めるのは町の責任では。

答 町長
西部広域行政管理組合で、処理方法を含め検討している。

問 ごみ発電計画の見直し
4月にプラスチック資源循環法が施行されごみ発電などの熱回収から再商品化の徹底へと国の方針が変わった。ごみ発電を前提とする西部広域の基本構想は大幅な見直しまたは撤回を迫られるのでは。

答 町長
基本的にはそのとおり。生ごみを収集し堆肥化を拡充する方法もある。スプーンに木製のものを使うこともできる。

問 町長
例えばごみの量を減らすとともにプラスチックの分別を徹底したり、使うプラスチック量を減らすのも大切な取組では。

答 町長
本町に報告のあった過去5年間の米軍機等の低空飛行訓練の目撃情報は、平成30年度0件、令和元年度2件、令和2年度2件、令和3年度0件、令和4年度1件の状況。その都度速やかに国、県の関係機関へ報告を行っている。

問 在日米軍の低空飛行訓練
白昼、傍若無人に在日米軍岩国基地からブラウンルートと称して「オスプレイ」などが低空飛行を繰り返している。日南町役場への通報件数と年度毎の資料提供を求める。

答 青戸教育長
鳥取方式の芝生化の内容を聞いた。現在ゆきんこ村で実証中である。こども園の園庭等を芝生化する検討も行っているが、今後は改めてプロジェクトチームとの協議の上、あり方など整理していきたい。

問 青戸教育長
去る5月28日、住民参加による「鳥取方式の芝生化」によって、日南町内に緑の広場・グラウンドを増やし、子どもたちの健全育成や地域コミュニティ再生の場として活用するという趣旨で正式に会が設立された。役員にオブザーバーとして中村町長と青戸教育長が就かれたが、今後の取り組みは。

経済福祉常任委員会

5月27日・6月14日

日南町木材団地拡張造成地視察（農林課）

■今年3月に完成した木材団地拡張造成地の現地視察を行った。（サワタ建設、福岡組、大柄組、日南振興共同企業体による施工）
・造成地の工場配置計画はまだ出来ていない。

4回目新型コロナワクチン接種（福祉保健課）

・対象の方には日南町から接種券が届く。予約の方法はインターネット、電話、福祉保健課の窓口でできる。
・日南町の5月末現在の3回目コロナワクチンの接種率は81.7%である。65歳以上の方は9割近くの方が接種している。
・日南町では、特に大事に至るような副作用の事例はなかった。

地籍調査の状況（建設課）

・地籍調査の開始から25年を迎える。H工程（地籍図、出席簿の作成）までの進捗率は現在37%である。
・令和4年度実施地区は、河上、霞、茶屋、菅沢、湯河、神戸上、福塚、豊栄を計画している。
・リモートセンシング（航測法）の導入により効率化を図る。令和4年度は、茶屋、豊栄地区において実施予定である。

町道の維持管理（建設課）

・各地区の維持工事業者との契約が終わりパトロールの実績報告を受けた。
・自治会が参画している除草作業の委託金額を令和4年度から2000円増額し12000円/kmとした。
・令和3年度の実績は13自治会、52路線、総長48.8kmである。



委託業者による町道修繕工事

日南町樹木育苗センター視察（農林課）

■昨年12月に完成した(株)ウッドカンパニーニチナン「日南町樹木育苗センター」の視察を行い説明を受けた。

・県内最大規模の最新鋭の施設で、ハウス内で自動灌水や暖房設備を導入し天候に左右されない施設となっている。

・カラマツ、杉、ヒノキのコンテナ苗を年間12万本生産し、日南町森林組合や県外にも販売予定である。



稼働し始めた樹木育苗センター（阿毘縁）

令和4年度 道路維持工事

工事名	施工場所	受注業者
阿毘縁・山上地区道路維持工事	阿毘縁・山上地区	(有)大生建設
日野上地区道路維持工事	日野上地区	(有)福岡組
石見地区道路維持工事	石見地区	日南振興(株)
福栄地区道路維持工事	福栄地区	(有)大柄組
大宮地区道路維持工事	大宮地区	(有)岡田建設
多里地区道路維持工事	多里地区	(有)今松工務店

総務教育常任委員会

5月27日・6月13日

日南小・中学校視察（教育委員会）

■授業参観

小学校では、教科担任制での授業が行われていた。（コロナ禍により、廊下から参観）



■施設視察

小学校3階バルコニーの雨どいの壊れ等、改修及び検討すべき点を確認した。
（小学校2か所、中学校7か所）

■学校管理者、教育委員等との意見交換

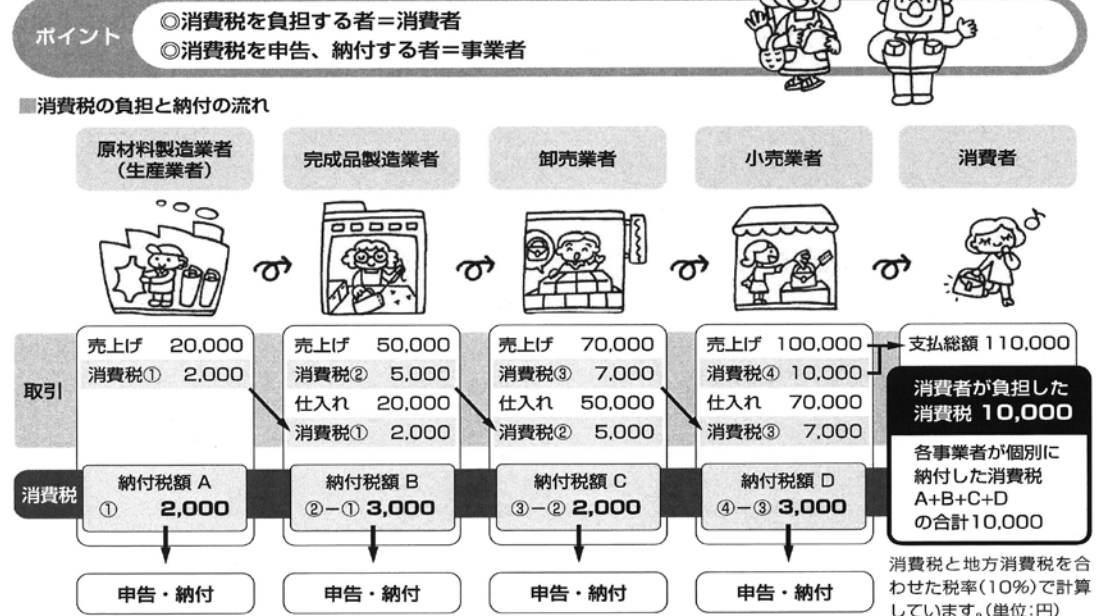
見世中学校長と三上小学校長より、学校経営方針や児童、生徒の様子等について説明を受けた。

また、学校運営協議会が発足し、田辺隆則会長も参加され、支援サポーター、部活動の運営等現状について意見交換を行った。

インボイス制度の概要について（住民課）

令和5年10月1日より、「消費税の仕入税額控除方式」から「適格請求書等保存方式」への変更になる。制度変更の概要と留意点、免税事業者の登録申請手続等の説明を受けた。
今後は、日南町商工会や米子税務署等が事業者向け等に説明会を予定されている。

■消費税の基本的な仕組み



(国税庁HPより)

インボイス制度（適格請求書等保存方式）の概要

■インボイスとは

売り手が買い手に正確な税率や税額を伝える手段。

■導入理由

1. 益税の抑制…消費者が事業者を支払った消費税の一部が合法的に免税事業者の利益となっている。
2. 不正やミスの防止…「誰が、いつ、何を、何%で、合計は」を正確に記す。

■導入による留意点

課税事業者が免税事業者との取り引きで支払った消費税は、仕入税額控除（売上消費税－仕入消費税）がうけられない。そのため、課税事業者は仕入消費税も加算して納付しなければならない。

※生産者が農協、森林組合等に委託して行う農林水産物の譲渡はインボイスが免除される。
(詳細は国税庁HPを参照)

監査委員、教育委員、固定資産評価委員の選任 および農業委員会の任命などを同意

執行部から提案された議案は、専決処分、財産の取得、条例の一部改正、監査委員の選任、新しい農業委員会委員の任命などの議案が提案され、全ての議案を原案どおり可決、同意しました。

また、選挙管理委員会、補充員の選挙を行いました。

専決処分の承認

◆工事請負契約の変更
林道内方線開設工事の
万円の増額
30



内方線開設工事現場

◆日南町税条例等の一部改正
国の地方税法改正にともなうもの

◆日南町国民健康保険税条例の一部改正
国の国民健康保険法の改正にともなうもの

財産の取得

除雪ドーザー5t級購入
契約の相手方
コマツ山陰(株)
契約金額 1,408万円

条例の一部改正

◆日南町特別職で常勤ものの給与及び旅費に関する条例の一部改正
令和4年6月に支給する期末手当を減額するもの

◆日南町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正
令和4年6月に支給する期末手当を減額するもの

◆日南町職員の給与に関する条例の一部改正
令和4年6月に支給する期末手当を減額するもの

●本案に対しては反対議員から「職員の期末手当は引き下げるべきではない」との討論がありました。賛成多数で可決されました。



選任同意及び任命同意

日南町監査委員

高見 正司(宮内)
(任期は令和4年5月11日から4年間)

日南町固定資産評価審査委員会

大塚 二美(福万来)
(任期は令和4年4月15日から令和4年10月31日まで)

日南町教育委員会委員

西村 彰滋(萩原)
(任期は令和4年5月14日から4年間)

日南町農業委員会委員の任命同意

福田 英夫(福塚)
梅林 操(霞)
天崎 直幸(生山)
嶋川 克寿(中石見)
木山 篤志(茶屋)
塩見真由美(上石見)
足立 進也(阿毘縁)
糸田川 啓(萩原)
加藤 幸児(折渡)
足立 福子(阿毘縁)
(任期は令和4年5月19日から3年間)

日南町選挙管理委員会委員及び補充員の選挙

委員

山本 知恵(生山)
大塚 武史(下石見)
前田 純子(霞)
山脇 良円(印賀)
補充員
中村 秀人(三吉)
稲田 洋子(笠木)
生田 敬聖(下阿毘縁)
前田 浩史(生山)
(任期は令和4年5月13日から4年間)

議会事務局の紹介

4月の人事異動により、議会事務局長に浅田雅史職員が着任しました。



浅田事務局長と鹿取書記

行政

視察

岡山県津山市

津山圏域クリーンセンター リサイクルプラザ

鳥取県西部9市町村では、長年にわたり一般廃棄物処理施設の整備を検討してきました。その経緯を踏まえ、令和4年7月1日、議員全員で広域化を進めた津山圏域クリーンセンターを視察しました。



事業概要	
圏域人口	140,724人
建設費の総額	約145億円
可燃ごみ処理能力	128t/日
維持管理費	約6億円/年

調査概要

新ごみ処理施設の建設 用地の確保について

平成18年9月に建設候補地を公募した結果、地元同意を得られた9地域の応募があった。
検討の結果ごみの運搬距離や環境問題もあり、平成19年津山市の領家地区に決定した。

津山圏域クリーンセンターの施設概要

1日128tの処理能力を持つストーラー式焼却炉に高効率の発電設備を備えた熱回収施設、1日38tの処理能力を持つリサイクル施設、3万m³の埋め立て容量を持つ最終処分場に加え、リサイクルプラザ機能を備えた管理棟を有する総合ごみ処理センターとして整備されている。

熱回収施設

発生した熱エネルギーを蒸気として回収し、タービンを回して発電を行う。

リサイクル施設

最大2310kWの発電を行う能力があり、作られた電気は施設内で使用し、余剰電力は中国電力に売電し、年間1億3000万円の利益を得ている。
焼却灰は金属選別機で鉄と不適物を回収した後、セメントの原料として有効利用される。

環境学習の拠点施設である管理棟

自然保護や自然環境との調和、ごみの減量化や資源の有効活用について学ぶための施設であり、いろいろな体験プログラムを行います。また施設内にリサイクルプラザが設けてあり、清掃、点検等を行った後に、

最終処分場

リサイクル施設で選別した後、資源化や償却できないガラス、陶磁器などを埋め立てる。施設は防水施工された屋根付きのコンクリートピットで、埋立容量は3万m³あり、あと50年使用可能。



最終処分場の内部

【考察】

西部圏域のごみ処理場については、単なるごみ処理施設ではなく、エネルギーの回収や資源化はもとより、環境学習、地域交流施設などを併設した総合的な施設とする必要がある。

道 どっこい、この町に生きる 草

にちなん議会だより

令和4年7月発行 第168号

ホームページ
http://www.town.nichinan.lg.jp/p/1/15/2/発行／日南町議会 編集／議会広報常任委員会 印刷／富士印刷(有)
〒689-5292 鳥取県日野郡日南町霞800
電話：(0859) 82-1900 FAX：(0859) 82-1131

鍵は発信力

なだ

しゅうじゅう

秀二 尚二さん (矢戸)

山陰のものづくり

一つのを集中して生産・販売していききたいとの思いで、ペリーの黒船が来航した年に城下町松江に誕生した味噌メーカーの門をたたきました。

城下町にふさわしい上品な味と160余年の老舗で山陰では確固たるブランド力がある中で育ててもらい、山陰のものづくり・発信に取り組んできました。

”いいものがいっぱいある”日南町

妻の里が福栄で、家族でお米・野菜を作っていて、初めていただいた時は本当に美味しく感銘を受けたことを覚えています。

しかし農業の現状を聞いていく中で、日南町農業に危機感を抱きもつたいないで終わらせてはいけないと思いました。

いいものがいっぱいある日南町を6次産業の分野から発信し選択肢を広げていくことで、若い人が残っていけるような新しい仕組みを自分たちの年代で確立していきたいと考え、思い切って来ました。

なぜ農業研修生に

日南町でものづくりをするために、この環境で「生産の基礎」を学びたいと考えたからです。

農家で研修する中で現状を理解し、今後の産業につなげていききたいと思います。今は、楽しい学びの時間を過ごしています。

どんな加工食品を

消費者のニーズに合わせながら漬物やドライ野菜を製造・販売していききたいと考えています。



ブロッコリー畑での収穫

また、町内の生産者と共にものづくりを発信し、盛り上げていきたいです。第一弾として、既に生産者の皆さんの販売サポートに取り組んでいます。

「発信をしっかりとっていかないと形にならない」。長年食品業界に携わって来て一番感じたことです。日南町はとても魅力のある町だと思います。

編集後記

「平和とは理念ではなく現実の力なのだ」。これは紛争地域で医療、灌漑など数々の偉業を成し遂げた故中村哲医師の言葉です。彼は常に粘り強い対話と自分の持つ技術、知恵と工夫で困難を乗り越えてきました。

武力衝突が珍しくない彼の地で、それは並外れた度量と卓抜なアイデア、そして限らない誠実さが求められる行為だったのではないのでしょうか。

戦争に翻弄され軍備拡張にひた走る現在の日本政府を、中村医師ならどういさめたか。今、私たちも真剣に考えるべきです。

岡本 健三 記

発行責任者

議長 長 山本 芳昭

議会広報常任委員会

委員長 近藤 仁志

副委員長 檀田 洋一

委員 久代 安敏

委員 荒木 博

委員 岡本 健三

委員 坪倉 勝幸